

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	(専) 京都中央看護保健大学校
設置者名	学校法人京都中央看護師養成事業団

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護・保健専門課程	看護学科	夜間 通信	85 単位	12 単位	
	看護保健学科	夜間 通信	84 単位	12 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生便覧・学習の手引きに掲載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	(専) 京都中央看護保健大学校
設置者名	学校法人京都中央看護師養成事業団

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>ホームページ http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_01.pdf 一覧表を作成し、申請により閲覧可能 印刷物（一般社団法人京都私立病院協会年次事業報告書）</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任 期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人役員	2年間	理事長
非常勤	医療法人役員	2年間	副理事長
非常勤	医療法人役員	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	医療法人役員	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	病院長	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	地方自治体職員	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	同窓会顧問	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	前一般社団法人役員	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	病院長	2年間	組織運営体制への チェック機能
非常勤	病院長	2年間	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	(専) 京都中央看護保健大学校
設置者名	学校法人京都中央看護師養成事業団

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育理念・教育目的・教育目標・期待する卒業生像の達成を目指し、保健師助産師看護師学校指定規則及び看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに則り科目構築を行い、一貫性・継続性・弾力性を意識して領域・科目目標を明確にしている。</p> <p>講師・教員により、その領域・科目目標の到達を意図して授業計画を作成している。</p> <p>シラバスには、配当時期・担当者・事前学習内容・科目全体のねらい及び授業目標、90分授業1回毎の学習内容及び学習成果、テキスト等を明かにしている。また、評価方法や受講上の注意を示し、学生のシラバス活用を促すため、始講にあたってはシラバスを用い学習ガイダンスを行っている。</p> <p>シラバスの教育内容については、授業評価によって学生の取り組み状況や満足度を把握し、学科会議等で教員全体が振り返りその教育方法も含めて次年度に活かす課題の抽出を行っている。</p> <p>講師会では、授業評価の報告及び改善点を討議している。</p> <p>公表については、学生に掲示している。</p> <p>大学校ホームページへの掲載を検討している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校案内</p> <p>学生便覧</p> <p>学習の手引き(シラバス)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業を実施するにあたって単元考察を行い、学生観(単元に関する学生の興味関心・既習学習の修得状況・年齢構成・社会的背景・学習集団としての様子等)を明かにしている。その学生観と教材観から指導観を導きだし、学習意欲につなげている。学習意欲の把握は、日々の学生の学習活動から地道に拾い上げることだと考えている。

学科試験は、前期・中期・後期とまとめて行い、科目の単位時間数から外し、より教育内容の理解に努めている。学科試験・レポート評価は、公正に実施され、問題に不備がないかも年次担当教員・教務事務・カリキュラム統括が適正に管理している。

本大学校は、大学院に直接、受験が可能のため看護研究の単位数も多く、その指導の為の教員研修についても力をいれている。

単位認定については、卒業認定会議・単位認定確認会議を行い、厳正に単位修得を確認している。

現在、第5次指定規則改正に向けてディプロマポリシー・アセスメントポリシーを作成しているところである。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は履修要領に基づき、当該科目の3分の2以上の出席をもって学科試験を受験又は臨地実習評価に基づき科目担当者が評価を行い、所定の成績に達した者について学校長が単位を認定している。評価が60点未満の場合は再試験を、臨地実習において不可の場合は再実習を行い、その合格により単位を認定している。事前に評価目標や評価表を学生に提示しており、学生はその修得に向けて努力している。

単位認定の会議において成績一覧を作成し、科目平均点・学生個人の平均点・科目不合格者数などにより成績評価の客観性を見いだしている。

今回の申請にあたりGPAを算出し、より客観的な成績状況の把握に努めたい。

単位認定状況及び成績評価については学生本人に通知している。また、保護者等には学生に成績評価を通知していることとお知らせしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ
http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_07.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則第 25 条に基づき学校長が卒業認定会議を招集し、第 4 条に定める期間在籍した者について 124 単位の認定及び 3 分の 2 以上の出席を確認し卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧（履修要領）

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※**専門学校**は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	(専) 京都中央看護保健大学校
設置者名	学校法人京都中央看護師養成事業団

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> 学校法人京都中央看護師養成事業団情報公開規定に基づく公開（閲覧又はコピーの請求） ホームページにて公開 貸借対照表・収支計算書・財産目録 http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_04.pdf 事業報告書 http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_03.pdf 学校法人京都中央看護師養成事業団情報公開規定に基づく公開（閲覧又はコピーの請求）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		看護・保健 専門課程	看護学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124単位	100単位		24単位		
			124単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		163人	0人	12人	82人	94人	

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p>
<p>（概要） 別紙の進度表参照のこと。</p> <p>カリキュラムデザインは漸進型で、領域横断型カリキュラムも取り入れている。アクティブラーニング型授業を行っており、学生の主体的参加を意図する協同学習を行っている。</p> <p>修業年限が4年で、そのまま大学院に進学できることを踏まえて、看護研究の単位数を4単位にしている。</p> <p>領域別看護学の臨地実習は、概ね3年次生後半から4年次生前半に位置づけている。看護リフレクション（3単位）、特別分野看護セミナー（4単位）、看護実践強化セミナー（4単位）を統合分野に位置づけ、看護実践力を強化した学習内容と教育方法を設定している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>（概要）</p> <p>当該科目の所定時間数の3分の2以上の出席が前提条件。</p> <p>学科試験は、筆記・口述・レポート・論文・実技・発表などにより行う。臨地実習評価は、成績評価表及びルーブリックで評価する。</p> <p>成績の評価は、優・良・可・不可で表し、優・良・可が合格で、合格した者が単位修得できる。</p> <p>※優：80点以上 良：70点～79点 可：60～69点、不可：60点未満</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>（概要）</p> <p>学則第8条別表2に定める124単位以上を取得した者に卒業を認める。</p> <p>なお、単位制のため、進級の概念はない。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>（概要）</p> <p>成績低迷者及び国家試験不合格圏内の学生にあっては、個別及び小集団に学習を強化する関わりを行うが、支援方針としては、自立・自律の精神で環境を整える働きかけを工夫する努力をすることとしている。</p> <p>また、心理的な問題に関しては、年次担当教員の細やかな関わり及び学生カウンセラーの専門的な支援において学習継続が可能となり、退学者・休学者は少ない。</p> <p>本大学校は京都市と一般社団法人京都私立病院協会が共同で設立した団体で、協会加盟病院からの奨学資金で、授業料等の全額又は一部の支援が得られる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 （100%）	0 人 （ 0%）	42 人 （93.3%）	3 人 （ 6.7%）
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 奨学金支給病院に約 7 割の学生が就職している。それ以外の学生に対しては奨学生募集病院等の紹介や、求人票の閲覧コーナーを設置し、全員が就職できるよう支援している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 卒業生は看護師国家試験の受験資格が得られる。令和 2 年 2 月施行の合格率は 93.3%で、合格者は看護師として、不合格者も 1 人を除き看護補助者として病院に就職している。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
170 人	3 人	1.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、身体的理由のため。		
（中退防止・中退者支援のための取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年担当教員、学科長等によるきめ細やかな学習支援、生活指導 ・ 独立性を持った学生相談室に配置している心理カウンセラーへの相談 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		看護・保健 専門課程	看護保健学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124単位	96単位		28単位		
			124単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		163人	0人	14人	75人	89人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 別紙の進度表参照のこと。</p> <p>カリキュラムデザインは漸進型で、領域横断型カリキュラムも取り入れている。アクティブラーニング型授業を行っており、学生の主体的参加を意図する協同学習を行っている。</p> <p>修業年限が4年で、そのまま大学院に進学できることを踏まえて、看護研究の単位数を4単位にしている。</p> <p>領域別看護学の臨地実習は、概ね3年次生後半から4年次生前半に位置づけており、4年次生後半に公衆衛生看護学実習を保健福祉センター・地域包括支援センターで行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>当該科目の所定時間数の3分の2以上の出席が前提条件。</p> <p>学科試験は、筆記・口述・レポート・論文・実技・発表などにより行う。臨地実習評価は、成績評価表及びルーブリックで評価する。</p> <p>成績の評価は、優・良・可・不可で表し、優・良・可が合格で、合格した者が単位修得できる。</p> <p>※優：80点以上 良：70点～79点 可：60～69点、不可：60点未満</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>学則第8条別表1に定める124単位以上を取得した者に卒業を認める。 なお、単位制のため、進級の概念はない。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>成績低迷者及び国家試験不合格圏内の学生にあつては、個別及び小集団に学習を強化する関わりを行うが、支援方針としては、自立・自律の精神で環境を整える働きかけを工夫する努力をすることとしている。</p> <p>また、心理的な問題に関しては、年次担当教員の細やかな関わり及び学生カウンセラーの専門的な支援において学習継続が可能となり、退学者・休学者は少ない。</p> <p>本大学校は京都市と一般社団法人京都私立病院協会が共同で設立した団体で、協会加盟病院からの奨学資金で、授業料等の全額又は一部の支援が得られる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	37人 (97.4%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
病院、地方自治体保健師			
(就職指導内容)			
奨学金支給病院に約7割の学生が就職している。それ以外の学生に対しては奨学生募集病院等の紹介や、求人票の閲覧コーナーを設置し、全員が就職できるよう支援している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
卒業生は看護師国家試験と保健師国家試験の受験資格が得られる。令和2年2月施行の合格率看護師・保健師とも100%で、助産師課程に進学した1人を除き全員が看護師または保健師として就職している。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
164 人	4 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、身体的理由のため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・担当教員、学科長等によるきめ細やかな学習支援、生活指導 ・独立性を持った学生相談室に配置している心理カウンセラーへの相談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200 千円	492 千円	700 千円	
看護保健学科	200 千円	656 千円	700 千円	
修学支援 (任意記載事項) ① 一般社団法人京都私立病院協会会員病院奨学金 ② 京都府看護師等就学資金 ③ 日本学生支援機構奨学金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_02.pdf

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>学校関係者評価委員会は、学識経験者、在校生の保護者、同窓会が推薦する者で構成され、教育活動や学校運営などの 57 項目に亘る自己評価結果について評価している。評価結果については委員長名の文書で答申され、学校自己評価委員会を通して職員に情報提供し、その後の学校運営・教育に活かしている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所 属	任 期	種 別
病院看護部長	令和 2 年 3 月 26 日 ～令和 3 年 3 月 25 日	学識経験者
医療施設職員	令和 2 年 3 月 26 日 ～令和 3 年 3 月 25 日	学識経験者
株式会社役員	令和 2 年 3 月 26 日 ～令和 3 年 3 月 25 日	保護者（看護学科）
医院職員	令和 2 年 3 月 26 日 ～令和 3 年 3 月 25 日	保護者（看護保健学科）
病院職員	令和 2 年 3 月 26 日 ～令和 3 年 3 月 25 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://chukan.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/information_02.pdf</p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://chukan.ac.jp/</p>
